

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-048177

(43)Date of publication of application : 18.02.2000

(51)Int.Cl.

G06T 1/00
A61B 5/117

(21)Application number : 10-216074

(71)Applicant : FUJITSU TAKAMISAWA
COMPONENT LTD

(22)Date of filing : 30.07.1998

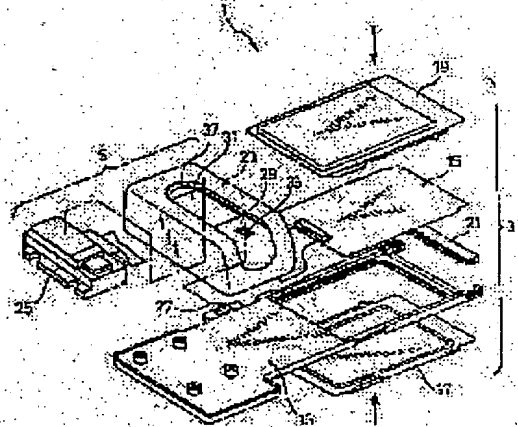
(72)Inventor : TAKAHASHI TAKAYO

(54) CARD WITH FINGERPRINT SCANNER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a PC card capable of easily and conveniently constructing the security countermeasure of a portable information equipment without hindering any portability on condition that the card slot of a portable information equipment, for example, the normally equipped PC card slot of a note PC is used, and that a 'fingerprint' is used as the most effective means for individual identification is used.

SOLUTION: This card includes a card part 3 and a scanner part 5 incorporating a scanner unit 25 for fingerprint scanning. The card part 3 and the scanner part 5 has a configuration in which they are integrated and a configuration that they are separately constituted and mechanically connected so as to be relatively rotatable. There is a case that the scanner part 5 is provided with a supporting leg part whose height can be adjusted. The scanner part 5 includes a sensor 27 for fingerprint detection provided separately from the scanner unit 25 for detecting the position state of a finger, and the position state of the finger can be detected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(11)特許出願公開番号

特開2000-48177

(P2000-48177A)

(43)公開日 平成12年2月18日(2000.2.18)

(51) Int.Cl.?

識別記号

F I

テマコート・(参考)

G O 6 T 1/00

G O 6 F 15/64

G 4 C 0 3 8

A61B 5/117

A 6 1 B 5/10

322 5B047

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-216074

(22) 出願日 平成10年7月30日(1998.7.30)

(71)出願人 595100679

富士通高見澤コンポーネント株式会社

東京都品川区東五反田2丁目3番5号

(72) 発明者 ▲高▼橋 貴世

長野県飯山市大字野坂田935番地 株式会

社内通の富士

(74) 代理人 100077517

弁理士 石田 敬 (外3名)

Fターム(参考) 4C038 FF01 FF05 FG00

5B047 AA25 BA02 BB01 BC16 BC20

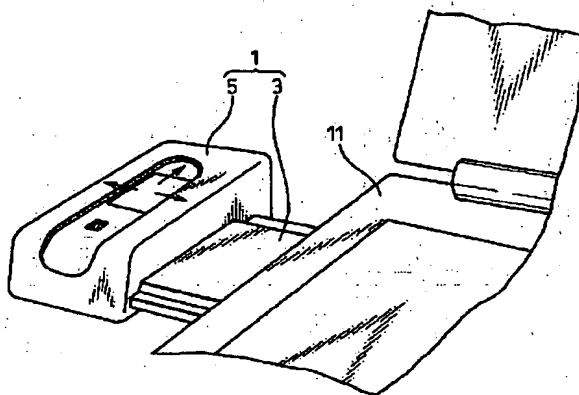
BC21 CB11

(54) 【発明の名称】 指紋スキャナ付きカード

(57) 【要約】

【課題】 携帯型情報装置のカードスロット、例えばノートPCならば通常有しているPCカードスロットに着目し、これを利用すること、並びに、個人識別の最強の手段として『指紋』を用いることを前提にして、携帯性を阻害することなく、携帯型情報装置のセキュリティ対策を簡易・簡便に構築することができるPCカードを提供する。

【解決手段】 本カード1、41、51、71は、カード部3と指紋スキャニング用のキャナユニット25を内蔵したスキャナ部5とを含む。カード部3とスキャナ部5とは、一体化される態様と、別体で構成されて相対回転可能に機械的に連結される態様、とを有する。スキャナ部5には、支持用の高さ調整可能な脚部53が設けられる場合がある。スキャナ部5は、スキャナユニット25とは別の、指の位置状態を検知するための指検知用センサ27を含み、指の位置状態を検出できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯型情報装置のカードスロットに着脱自在に装着され得るカードであって、カード部と、指紋スキャンニング用のスキャナユニットを内蔵したスキャナ部、とを含むことを特徴とするカード。

【請求項2】 前記カード部と前記スキャナ部とは、一体化されて成ることを特徴とする請求項1記載のカード。

【請求項3】 前記カード部と前記スキャナ部とは、相対回転可能に機械的に連結されていることを特徴とする請求項1記載のカード。

【請求項4】 前記スキャナ部には、支持用の高さ調整可能な脚部が設けられていることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項記載のカード。

【請求項5】 前記スキャナ部は、前記スキャナユニットとは別の、指の位置状態を検知するための指検知用センサを含むことを特徴とする請求項1～4のいずれか1項記載のカード。

【請求項6】 前記カードはPCカードであることを特徴とする請求項1～5のいずれか1項記載のカード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯型情報装置 (Portable Type Information Apparatus)、例えば、ノートブック型のパーソナルコンピュータ (以下、ノートPC) のカードスロットに着脱自在に装着され得るカード、例えば、PCカードに関する。

【0002】

【従来の技術と発明が解決しようとする課題】 近時、ノートPCが広く普及しているが、セキュリティから個人の認証の必要性が高まっている。すなわち、許可者以外の者がノートPCからデータを不正入手したり、ノートPCを介してネットワークに不正侵入する等の事件が多々起きており、これを防ぐために識別装置が必要である。

【0003】 このような識別装置は、既存のノートPCに簡単に取付けることができ、大きさや重さの点でノートPCの携帯性を害するものであってはならない、という条件を少なくとも充足する必要があるが、そのようなものは現在のところない。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本願発明者は、携帯型情報装置のカードスロット、例えばノートPCならば通常有しているPCカードスロットに着目し、これを利用すること、並びに、個人識別の最強の手段として『指紋』を用いることを前提に本願発明を想到するに至った。

【0005】 本発明は、携帯型情報装置のカードスロットに着脱自在に装着され得るカードであって、カード部と、指紋スキャンニング用のスキャナユニットを内蔵したスキャナ部、とを含むことを構成上の特徴とする。この

場合、カードがスキャナ部を含むので、携帯に非常に便利であり、また、装着も容易である。好ましくは、前記カード部と前記スキャナ部とは、一体化されて成る。この場合、取り扱いが容易である。

【0006】 好ましくは、前記カード部と前記スキャナ部とは、相対回転可能に機械的に連結されている。この場合、カード部に無理な力が作用しにくい。好ましくは、前記スキャナ部には、支持用の高さ調整可能な脚部が設けられている。この場合、スキャナ部を安定支持できる。好ましくは、前記スキャナ部は、前記スキャナユニットとは別の、指の位置状態を検知するための指検知用センサを含む。この場合、指紋の読み取り精度を向上できる。

【0007】 好ましくは、前記カードはPCカードである。この場合、特別な専用のスロットを設ける必要がない。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の複数の実施態様を図面を参照して説明する。図1は、携帯型情報装置、例えば、ノートブック型のパーソナルコンピュータ (以下、ノートPC) 11の一側面のカードスロットに、本発明の第1実施態様のPCカード1を装着している状態を示す要部斜視図であり、図2は、PCカード1の分解斜視図である。

【0009】 PCカード1は、カード部3とスキャナ部5とを有する。カード部3は、開口部を具えた、例えば樹脂の射出成形によるベースフレーム13と、ベースフレーム開口部に配置されるプリント回路基板15と、プリント回路基板15を上下から被う、例えばステンレス製のカバー17、19、とを含む。プリント回路基板15には、外部接続用のコネクタ21が接続される。

【0010】 スキャナ部5は、その本体を構成するカバー23を含む。カバー23は、カード部3のベースフレーム13の端部上に取付け固定される。カバー23内部には、CCD型のスキャナユニット25と指検知用センサ27とが配設される。スキャナユニット25とプリント回路基板15とは、例えばフレキシブル基板 (FPC) で電気的に接続される。

【0011】 カバー23上面には、回りのカバー上面部分よりも一段低くなった略平らな、指先 (腹部分) が接触し得る受け面部29が形成される。図3から理解されるように、受け面部29の奥側には、矩形状の開口31が形成され、該開口31には、スキャナユニット25の指紋検出部が配置され、受け面部29の手前側には、矩形状の小さな開口33が形成され、該小開口33には、指検知用センサ27の上部が配置される。

【0012】 指検知用センサ27は、受け面部29に対して指が最適な位置状態 (水平密着状態) にあるか否かを判別するのに利用される。指が最適状態にあるときに指紋を読み取ることができ、これにより、指紋読み取り

精度が大幅に向上し得る。また、この指検知用センサ 27 からの出力信号を利用して、スキャナユニット 25 の主電源の ON/OFF を行い、消費電力を低減するように構成することもできる。

【0013】図 4 から理解されるように、高いカバー上面部分と低い受け面部 29 との境界は、滑らかな凹曲面 37 から成り、指の左右方向及び奥方向（図 1 の矢印で示す 3 方向）の動きを或る程度拘束し得るように、すなわち、指がフィットして動かないように、ホールド性が良いように構成される。ここで、本発明に係る P C カードの使用形態として、2 つの例を図 5 及び 6 に示す。

【0014】図 5 の形態例は、ネットワークセキュリティに関するものであり、この形態例にあつては、許可者以外の者がコンピュータ・ネットワークに不正に侵入するのを防止するために、本 P C カードが利用される。すなわち、スキャナ部（指紋照合部）で得られた指紋データと登録済み指紋データとが比較され、許可者が否かが識別される。許可者以外の者によるアクセスの場合、接続回線がソフト的に切断され、ネットワークへの侵入が不可能になる。これは、ネットワークの携帯端末であるノート P C の各々に専用の鍵（KEY）を設けたことと同じであり、ネットワークの正常な稼働状態を安全且つ確実に維持することができる。

【0015】図 6 の形態例は、コンピュータセキュリティに関するものであり、この形態例にあつては、ノート P C 内に格納されているデータに対して、許可者以外の者が不正にアクセスするのを防止するために、本 P C カードが利用される。すなわち、スキャナ部（指紋照合部）で得られた指紋データと登録済み指紋データとが比較され、許可者が否かが識別される。許可者以外の者によるアクセスの場合、ソフト的にアクセス不能になる。これは、個々のノート P C に専用の鍵（KEY）を設けたことと同じであり、ノート P C の不正操作を確実に防止できる。

【0016】以下に、P C カードの別の複数の実施態様について説明するが、上記第 1 実施態様のそれと共通する部分・部品については、同じ参照符号を付し、重複する説明を適宜省略し、異なる部分を主として説明する。図 7 及び 8 に示す第 2 実施態様の P C カードは、上記第 1 実施態様の構成に加えて、スキャナ部 5 のカバー 23 の側面に相互対向するように設けた L 形フランジ 43 を有する。そして、一端が L 形フランジ 43 に摩擦係合し、他端がノート P C 11 の縁部（ベゼル）に引っ掛けられ得るような樹脂製又は金属製の C 形フック 45 が用意される。

【0017】ノート P C 11 のカードスロットへの P C カード 41 挿入後に、C 形フック 45 が装着されて、ノート P C 11 の縁部に引っ掛けると共に L 形フランジ 43 に引っ掛けられ、これにより、P C カード 41 の抜けを防止できる。また、C 形フック 45 は、指紋読み取り時

（スキャニング時）にスキャナ部 5 に作用する下向きの力を或る程度支持することができ、P C カード 41 やノート P C 11 に作用する好ましくない曲げ力を或る程度低減でき好ましい。

【0018】図 9～11 に示す第 3 実施態様の P C カード 51 は、上記第 1 実施態様の構成に加えて、次のような高さ調整機構を有する。すなわち、スキャナ部 5 の側面には、段階的に高さ調整可能な脚部 53 が設けられる。該脚部 53 は、スキャナ部 5 側面に対して回動可能に支承される回転軸 55 と、切り欠き部を有し、回転軸 55 に偏心的に取付けられる薄い偏心円板 57 と、偏心円板 57 と一体的に回転するように取付けられるクリックレバー 59、とを含む（図 14 参照）。スキャナ部 5 の側面の、回転軸線を中心とする所定円の円周上には、クリックレバー先端部の突起が嵌合し得る窪み 61 が形成される。

【0019】偏心円板 57 を回転軸 55 の回りに回転させると、クリックレバー 59 の先端部が窪み 61 に弾力的に嵌合し、その際偏心円板 57 は、スキャナ部 5 の底面から所定量だけ下方に突出したような角度位置に位置し、スキャナ部 5 を支える、段階的に高さ調整可能な脚部 53 を構成することになる。従つて、本 P C カード 51 にあつては、スキャニング時にスキャナ部 5 に下向きの相当な大きさの力が作用する場合でも、スキャナ部 5 を確実に安定支持でき、すなわち、P C カード 51 に無理な曲げ力が殆ど作用しないようにでき、実用的・合理的である。脚部 53 が比較的簡単な構造から構成されているので、コスト増加は僅かである。

【0020】図 12 及び 13 に示す第 4 実施態様の P C カード 71 は、上記第 1 実施態様の構成を僅かに一部変えたような構成を有する。すなわち、本 P C カード 71 は、カード部 3 とスキャナ部 5 とが別体から成り、回動可能に相互連結されている。図 13 に示すように、ノート P C 11 のカードスロットに本 P C カード 71 を挿入したとき、スキャナ部 5 が斜めに傾いた状態に位置することになる。スキャニング時のスキャナ部 5 に対する指の押し当てる方向が、鉛直方向ではなく、斜め下方向（矢印）になり、該押し当てがやり易くなる。

【0021】図 14 及び 15 に示す第 5 実施態様の P C カード 81 は、上記第 4 実施態様（図 12、13）の構成に加えて、上記第 3 実施態様（図 9～11）の高さ調整用の脚部 53 を設けた構成から成る。すなわち、本 P C カード 81 は、カード部 3 とスキャナ部 5 とが別体から成り、連結部 73 を介して回動可能に相互連結され、スキャナ部 5 の側面には、段階的に高さ調整可能な脚部 53 が設けられる。

【0022】従つて、本 P C カード 81 にあつては、スキャナ部 5 を完全に安定支持でき、すなわち、P C カード 81 に無理な曲げ力が作用しないようにでき、非常に実用的・合理的である。

【0023】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、携帯性を阻害することなく、携帯型情報装置のセキュリティ対策を簡易・簡便に構築することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施態様のPCカードをノートPCに装着している状態を示す要部斜視図である。

【図2】図1のPCカードの分解斜視図である。

【図3】ノートPCの側面側から見た、スキャナ部の断面図である。

【図4】ノートPCの正面側から見た、図1のPCカードの側面図である。

【図5】本発明に係るPCカードの使用形態を示すブロック図である。

【図6】本発明に係るPCカードの別の使用形態を示すブロック図である。

【図7】本発明の第2実施態様のPCカードをノートPCに装着している状態を示す要部斜視図である。

【図8】図7のPCカードを別の方向から見た要部斜視図である。

【図9】本発明の第3実施態様のPCカードの要部斜視図である。

【図10】脚部を構成する偏心円板の動きを説明する図である。

【図11】ノートPCの正面側から見た、図9のPCカードの側面図である。

【図12】本発明の第4実施態様のPCカードの要部斜視図である。

【図13】ノートPCの正面側から見た、図12のPCカードの側面図である。

【図14】本発明の第5実施態様のPCカードの分解斜視図である。

【図15】ノートPCの正面側から見た、図14のPCカードの側面図である。

【符号の説明】

1、41、51、71…PCカード

3…カード部

5…スキャナ部

11…ノートPC

13…ベースフレーム

15…プリント回路基板

17、19…カバー

21…コネクタ

23…カバー

25…スキャナユニット

27…指検知用センサ

29…受け面部

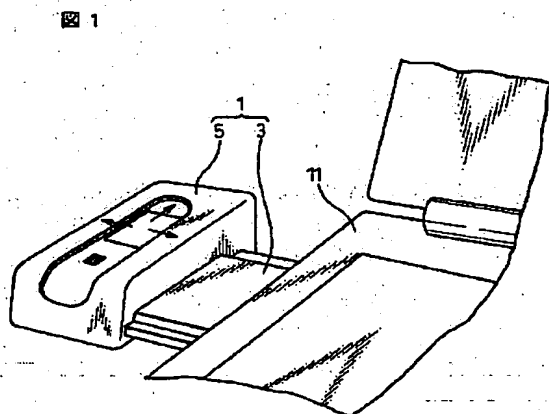
53…脚部

57…偏心円板

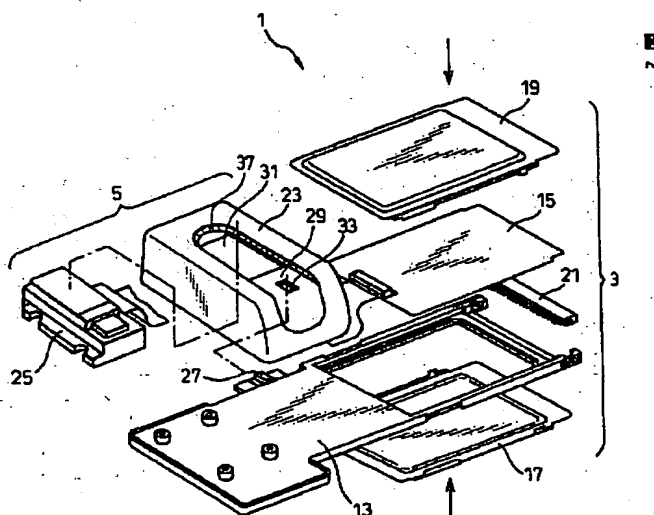
59…クリックレバー

61…窪み

【図1】

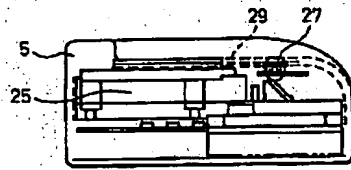


【図2】



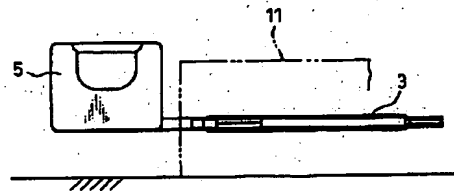
【図3】

図 3



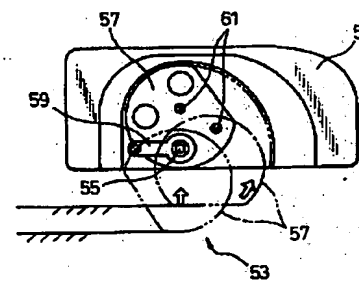
【図4】

図 4

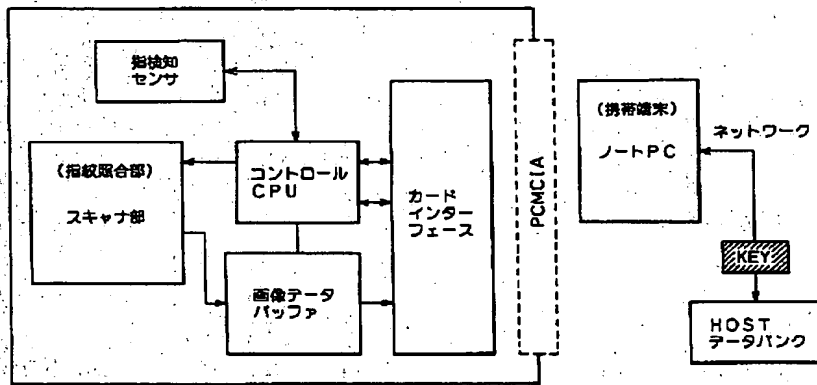


【図10】

図 10

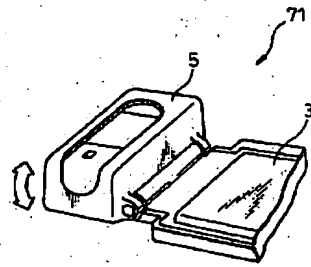


【図5】

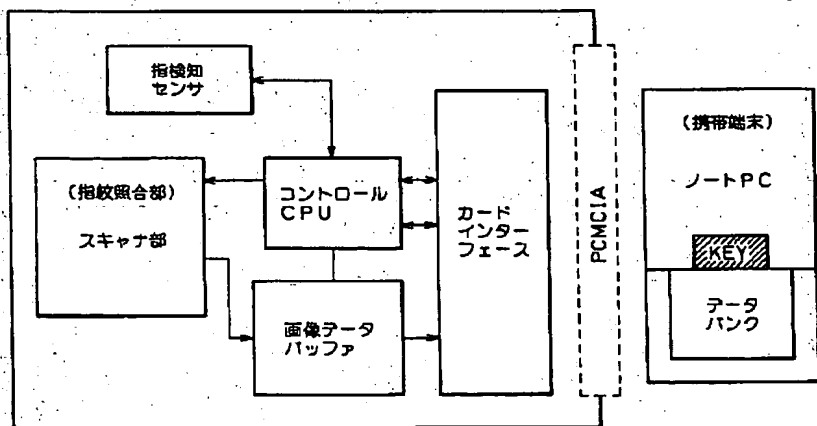


【図12】

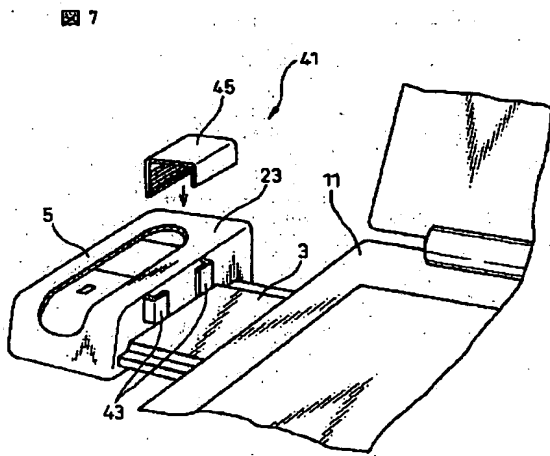
図 12



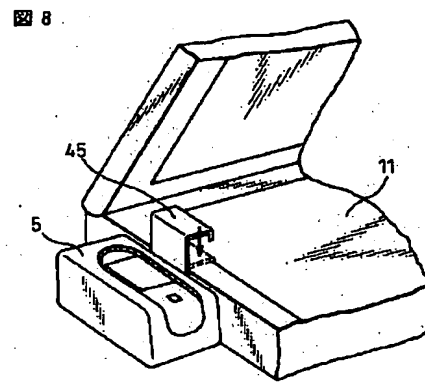
【図6】



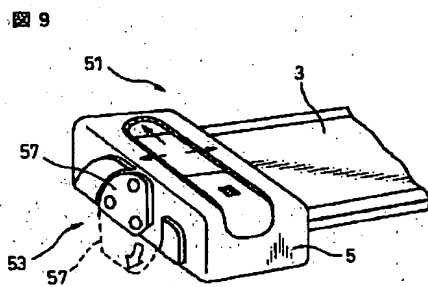
【図7】



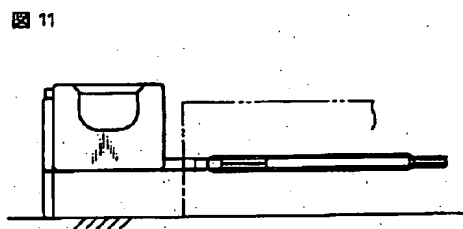
【図8】



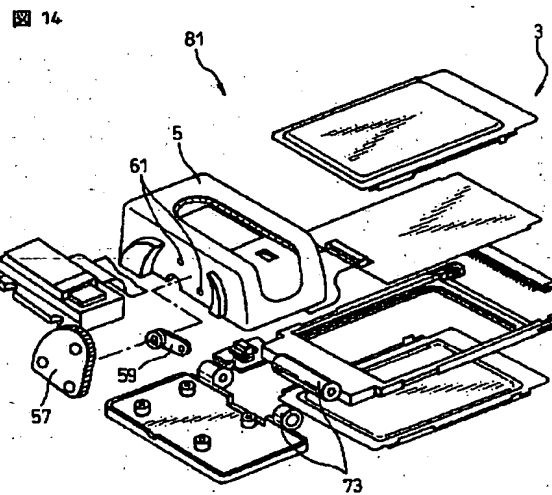
【図9】



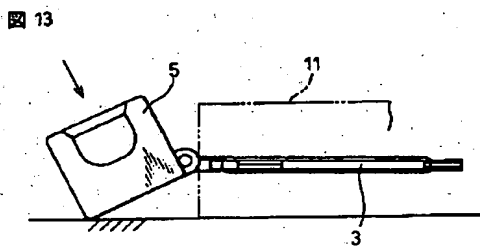
【図11】



【図14】



【図13】



(7)

特開2000-48177

【図15】

図 15

